



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

c/o YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN ☎920-0998 □(076)221-5398

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題	「世を照らす光となろう」 “Be the light of the world”
スローガン	「恵みを愛もて分かち合おう」 “Share your blessings in love”
アジア地域会長主題	「歳月は Y's をワイズ (賢者) にする」 “Years bring wisdom”
スローガン	「行動が活力を呼び覚ます」 “Action vitalize life with strength”
西日本区理事主題	「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」
スローガン	「ワイズメンの満足度向上を 真摯に取り組もう」
中部部長主題	「前へ! 声を掛け合い!」 “Go forward! Call together!”
金沢犀川クラブ会長主題	「活力に満ちたライフを!」 “Vitalize Our Lives at the Y's Men's Club!”
会長: 澤瀬 諭, 副会長: 川村孝治, 書記: 北 肇夫, 会計: 三谷信三, 直前会長: 北 肇夫	

今月の聖句: 心の貧しい人々は、幸いである、天の国はその人たちのものである。
マタイによる福音書 5. 3

2012年9月強調月間

Menettes

各クラブ会員は例会にメネットを誘いましょう。Have Fun With Menettes (メネットと共に楽しく)
下村明子 Yサ・ユース事業主任 (名古屋グランパス)

<p>☆☆☆9月第一例会案内☆☆☆ メネット強調月間特別例会 金沢ボランティアが「まいどさん」とそぞろ歩く “武家屋敷のお庭”</p> <p>日時: 9月17日(祝・月) 11:30-16:00 集合・解散場所: 和風レストラン “きたま” (金沢市片町二丁目 3-3 TEL 076-261-7176) ※マイカーの方は、北パーキングを利用。 (中央通りから入庫) ※北鉄バス「片町」をご利用の方は、和風レストラン “きたま” まで徒歩約3~5分。 会費: 2500円 準備: 北君 ***プログラム*** ガイド: 福岡澄子氏 見学場所: 野村家武家庭園、尾山神社庭園、 金沢城玉泉院丸庭園など。</p> <p>今月のハッピーバースデー 該当者なし。 *例会に使用済み切手をご持参ください。</p>	<p>☆☆☆8月例会報告☆☆☆</p> <p>[第一例会] 8月11日(土)、講演会 17:00~18:20・竹中歯科医院 3階チャペル・森野善右衛門先生「平和の創造—カト、ボンハッファー、憲法九条をめぐる—」、懇親会 19:00~21:00・兼六城下町 “ホテル兼六”、参加者: ゲスト 34名、会員 6名 (川村君・北君・澤瀬君・竹中君・平口君・三谷君)。[第二例会] 8月23日(木) 19:00~21:00、金沢 YMCA 集会室、出席者: 北君・澤瀬君・竹中君・平口君。</p> <p>六甲部会 9月8日(土)、ホテル竹園芦屋。京都部会 9月9日(日)、ウェスティン都ホテル京都。中西部部会 9月15日(土)、ホテル・グランヴィア大阪。阪和部会 9月29日(土祝)、たかつガーデン。西中国部会 9月29日(土)、広島 YMCA ホール・コンベンション。</p> <p>10月の当番 司会: 北君、準備: 竹中君</p> <p>今月の聖句について 「山上の説教」冒頭には、一般常識では理解しにくい逆説的な教えが記されている。学校などでは「心の豊かな人になりなさい」と子どもたちに教えているのに。山浦玄嗣氏(気仙)語訳『マタイによる福音書』では、「頼りなく、望みなく心細い人は幸せだ。神様の懐に抱かれるのはその人達だ。」と意識している。(平口)</p>
---	---

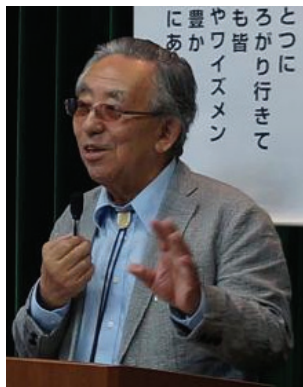
当クラブ	8月出席者	8月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 6名	メ ン 6名	100%	前月繰越切手 1,750g	7月累計 116,491円
広義会員 0名	メネット 1名		8月分切手 0g	8月分 14,415円
	ビジター 3名	メーキャップ 0名	今年度累計	
	ゲスト 30名		切手 1,750g	
			現金 0円	
合計 6名	40名	100%		累計 130,906円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 8月第一例会報告 ◆

竹中 文晴

8月11日(土)に開催された第一例会は、前橋市にお住まいの、日本基督教団関東東区巡回教師・森野善右衛門先生を特別にお招きし、「平和の創造—カト、ボンヘッファー、憲法9条をめぐる—」という演題で講演していただいた。



先生は40年以上前、金沢の若草教会で牧師をされていて、私や平口ワズが高校時代にその教会でお世話になったのであるが、私は先生とは40数年ぶりでの再会であった。83歳の現在もお元気な先生は、各地に礼拝説教やご講演に出かけられ、まさに神に祝福されたご生涯を送っておられる。今回、拙宅3階のチャペルに先生をお迎えし、ご講演を拝聴できたことは素晴らしい機会となった。

講演は、「Ⅰ 私の戦中・戦後」、「Ⅱ 皇国民から主の民へ」、「Ⅲ 基本的人権は国籍を超える」、「Ⅳ 平和の創造」、「Ⅴ 新しい戦前を来たさせないために」という順序で進められた。

「Ⅳ 平和の創造」は、1930年代のドイツの神学者で、ナチス・ヒトラーに抵抗して殉教したボンヘッファーの「一致が真理であるが、しかしその一致はただ真理においてのみ可能である」、「安全の道を通して平和に至る道は存在しない。安全保障を求めるといふことはそこに相手に対する不信感があり、そこから再び戦争が引き起こされる。しかし平和は敢えてなされなければならないことであり、それは偉大な冒険である」との言葉を踏まえている。ボンヘッファーの平和観に影響を与えたであろうカト著『永久平和のために』は、あらゆる敵意を捨てるのが平和の創造につながると述べている。さらに遡れば、旧約聖書イザヤ書2章4節には「彼らはその剣を打ちかえて鋤とし、その槍を打ちかえて鎌とし、国は国に向かって剣をあげず、彼らはもはや戦いのことを学ばない」とある。「平和の創造」という観点から憲法9条の意味を考え、「戦争の放棄」いわゆる「不戦の誓い」を守ることが日本のなすべき最大の国際貢献であるというお話を聴き、今の日本の状況について深く考えさせられた。

講演会参加者38名、懇親会参加者15名(懇親会のみ参加者2名)、例会全体としては40名参加という、金沢犀川ワイズメンズクラブの例会としては記録的な盛況となった。



(講演会の記念写真)

◆ 第17回びわこ部部会に参加して ◆

北 肇夫

8月25日(土)、ニューオミホテル(近江八幡市)で開催された第17回びわこ部部会には、金沢クラブの4ワズと金沢犀川クラブの澤瀬・平口・北の3ワズ、計7名が澤瀬会長の愛車に乗って参加した。

当部会には、中部関係者約30名が名古屋市で来年6月開催の第16回西日本区大会をアピールするため駆けつけた。参加総数は230余名。受付にはびわこ部のメットさんが浴衣姿で迎えてくれた。

式典は浄土宗西願寺の金森昭憲住職による「琵琶説教」で始まり、平家物語の世界に導く琵琶演奏と心打つ説教に耳を傾けた。バナーレモニーは、江州音頭の調べに乗って軽快に進められた。

洗練された式典・懇親会の最後は、参加者全員が大きな輪を作って「江州音頭」を踊り、「琵琶湖周航の歌」を斉唱しながら大きなウェブで名残を惜しんだ。

部会終了後、金沢犀川クラブの3ワズは、炎天下にも拘らず、織田信長公の居城「安土城天主跡」を目指して険しい石段を登り、琵琶湖や蒲生野の景色を堪能した。



(安土城石段前にて)

◆ 第16回中部部会に参加して ◆

次期中部部長 平口 哲夫

8月26日(日)、名鉄ニューグランドホテルで開催された第16回中部部会(ホスト:名古屋南山クラブ)には、例によって澤瀬会長運転の車に北・平口両ワズが便乗して参加。同日開催の中部評議会には澤瀬会長・北直前会長だけでなく、次期中部部長の平口も出席。

音楽療法の若手研究者・近藤真由氏の講演は、二人の学生バイオリニスト(今枝知世さんと金沢紫さん)による演奏だけでなく、聴講者にも合唱や合奏をさせるという趣向を凝らしたもので、私はすっかり癒された気分になった。懇親会でもバイオリンの演奏があったので、部会全体が清新な雰囲気にも包まれたように思う。

前日のびわこ部部会に加えて、今回の中部部会も次期中部部会のあり方に良い示唆を与えてくれた。



(講師の近藤真由氏、バイオリン演奏者の2学生と共に)

《 金沢 YMCA のホームページ 》

<http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/>